



交通指導(にじ組)



R3. 12. 28(火)



今日は、長崎市道路維持課の方が見えて、交通指導がありました。今年度最後の指導には、虹組のみ参加し、歩行訓練をしました。虹組の子ども達は、4月から小学校に行くので、今まで学んできた交通ルールを確認しながら、歩くことの大切さを確認することができました。道路標識の意味も、しっかり覚えましょう！



「おうだんきんし」
ここは、あぶないので、わたりません。



「おうだんほどう」
ここには、おうだんほどうがあります。



「ストップマーク」
おうだんほどうのてまえなどにあります。とまって、しっかりあんぜんをかくにんしましょう。



おうだんほどうや、ろそくたい、ふみきりをわたるときの、べんきようもしました。



ここが、スタート！
まずは、ストップマークで止まって・・・、「右をみて、左をみてもう一度、右をみて」確認します。



ここは、信号がある横断歩道。
「青信号」になっても、必ず手をあげて「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」自分の目で確認します。渡っている途中で青信号が、チカチカになった時は、走らないで「急ぎ足(早歩き)」で渡りましょう。



「信号のない横断歩道」では…
横断歩道を渡る前には、①車の方を見て、右手を挙げて、車が止まってくれることを待ちます。車が止まってくれたことを確認したら、まっすぐ右手をあげたまま、右・左・右をみて、安全を確認して渡ります。



これはガードレール。
ガードレールの先は、川があったり、がけになっていたり…危ないので、絶対のりこえたり、くぐったりして、先には行きません！



狭い道は、広がって歩かず、一列に並んで歩きましょう。どなたかお会いした時は、元気に挨拶しましょう。



ここは電車が通る踏切です。
遮断機が上がっても、「右をみて、左をみて、もう一度右をみて」そして、「電車が来ていないか、音をよく聞いて」渡りましょう。



交通指導のお姉さんのアドバイスで「横断歩道を渡る時、手がまっすぐあがっていない子がいます。子どもは、どうしても背が低くて車からは見えにくいので、手をまっすぐあげて横断歩道を渡ることが大切です」ということを教えてもらいました。交通指導終了後、「修了証(カード)」をいただきました。「『みる』『まつ』『とまる』まもるんだ」の合言葉を忘れず、自分で自分の命をしっかり守るための約束の一つ「交通ルール」をしっかり守りましょう！！雨の日や荷物が多い日などさまざまな日があります。1年生になる前に、一度お家の人と「通学路を歩いてみる」ことも大切だそうです。ぜひ、お子さんと通学路を一緒に歩いて、交通ルールのことも含めて確認をしてみてくださいね

